

## 環境影響評価事後調査について

新環境工場の建設期間中の工事による環境影響調査を行いました。  
これは工事により周辺環境に影響が無いか調査したものです。

### コベソマイマイ 移動後の生息状況

(殻の直径約1cm)



令和3年7月

コベソマイマイは樹林内の立ち枯れた樹木や倒木周辺で確認されており、コベソマイマイの生息に適した環境が維持されていると考えられます。

### キノボリタテグモ 移動後の生息状況

(巣の直径約5mm)



令和3年8月

平成30年に19個体を移動させた生息木4本での個体数は、この5年間で30個体前後で推移しており、生息は維持されています。また、平成30年に周辺の木3本を調査した際には1個体でしたが、令和3年8月には、19個体が確認されました。

### 地下水調査の実施状況



通年

造成工事等による地下水位の変化を監視するために平成30年10月より自動記録式水位計による24時間連続測定を実施しました。これまで造成工事等による地下水位への影響は確認されていません。

### 建設作業騒音、振動調査 の実施状況



令和3年11月

造成工事及び工事用車両の搬出入に伴う騒音、振動を監視するため敷地境界4地点において令和3年11月に調査を実施しました。建設作業騒音、振動ともに規制基準に適合していました。

## 編集後記



平成26年の基本計画等策定や環境アセスメント、地質調査等から始まりました新環境工場等整備事業は、約8年の時を経て、ついに令和4年3月に完成を迎えることとなりました。

この8年の間には、平成28年の熊本地震、令和元年に始まった新型コロナウイルス感染症といった未曾有の事態が起きました。そのような状況の中、大きな事故もなく竣工を迎えることが出来たのは、地域住民の皆様方をはじめ関係者の皆様のご理解とご協力によるものであり、心より感謝いたします。また、工事期間中はご不便とご迷惑をおかけしましたことを改めてお詫び申し上げます。

クリーンの森合志は、菊池市、合志市、大津町、菊陽町の住民約20万人の主に可燃性ごみを処理する施設です。令和4年4月1日より全施設が本格的に供用開始となります。安全な運営管理はもちろん、環境の保全措置に留意し、環境学習の場としての活用など、循環型社会形成の推進にも努めてまいります。

# 菊池環境保全組合

## 新環境工場等建設の取組み



～ 菊池環境工場クリーンの森合志 現在の状況 ～

**令和4年4月1日から全施設供用開始します**  
**住民の皆様、工事期間中は大変お世話になりました**

- 発行者 菊池環境保全組合
- 関係市町/菊池市・合志市・大津町・菊陽町
- 令和4年3月発行（第14号・最終号）
- 問い合わせ先

菊池環境保全組合

TEL (096)293-2555 FAX (096)293-3350

HPアドレス <http://www.kikunanseisou.or.jp>

Eメール [info@kikunanseisou.or.jp](mailto:info@kikunanseisou.or.jp)

第14号

令和4年3月発行



## 所在地

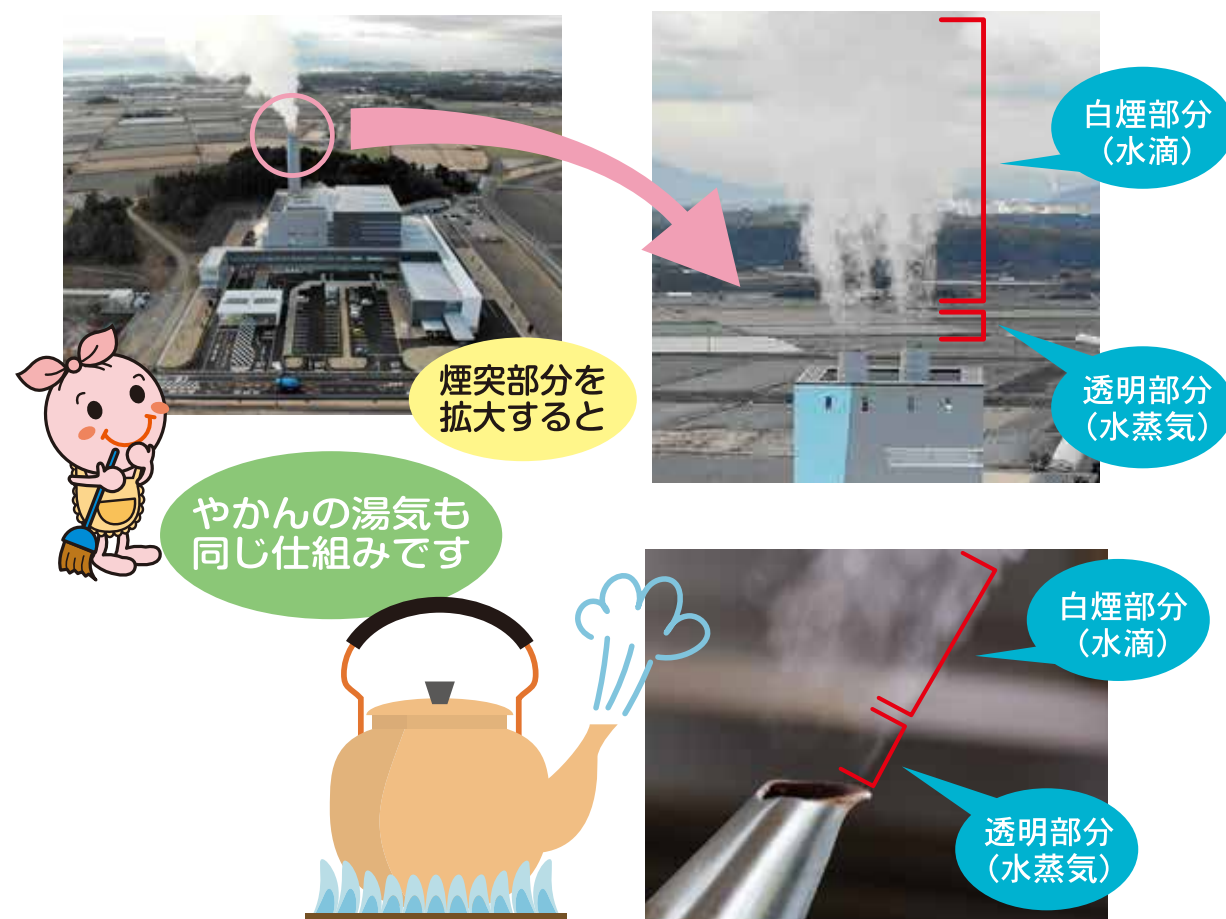


## ごみ焼却施設の現況

令和3年4月1日に供用開始しましたごみ焼却施設につきましては、排出ガスの測定を随時行い、協定値を遵守しながら安全に運転しています。

### ●煙突からの白煙について

気温が下がってくると、煙突から「白煙」が見えることがあります。これは適切に処理された排ガス中の水蒸気が、大気で急激に冷やされて、水滴になることにより煙状になって白く見えるものです。



## 最終処分場建設工事の進捗状況

ごみを燃やした後の焼却灰やリサイクルが困難なもの（ガラスくず・陶磁器くず等）を処分する埋立地と、埋立地の廃棄物を安定化・無害化するために散水した水を処理する浸出水処理施設が、本年3月に完成し、4月1日から供用開始します。

埋立地現況写真(1月末現在)  
(埋立容量13万㎡、長さ170m、幅62m、深さ15m)



浸出水処理施設現況写真(1月末現在)  
(処理能力25㎡/日)



## 最終処分場の特徴

本施設は、埋立地を屋根と壁で覆い、臭気の拡散や廃棄物の飛散などが回避できる仕組みになっています。また、埋め立てた廃棄物に散水した処理水を循環利用することで、一切外部に放流しない無放流型となっています。

